

平成28年度事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

第1 概要

平成28年度の畜産をめぐる情勢は、飼料穀物の国際価格が需給緩和を背景に安定して推移しているものの、円安等により生産資材が高止まりし、畜産経営に大きな影響を与えている。また、畜産物の価格は、総じて高相場を維持しているが、天候や伝染病の影響に加え、飼養頭数の減少による生産基盤の脆弱化による要因が大きく、今後も予断を許さない状況である。

また、長年の懸案事項であったTPP（環太平洋経済連携）協定については、トランプ米国大統領の登場により発効が見通せなくなり、今後の貿易交渉がより厳しいものになることが懸念されている。食料自給率40%の我が国にとっては、畜産物を含む食糧の安定的な供給の上でも、非常に重要な課題となっている。

家畜衛生面では、近隣諸国において口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の悪性伝染病が継続的に発生する中、国内においても高病原性鳥インフルエンザが7道県10農場において発生した。本県でも野鳥からウイルスが多数分離されるなど、引き続き大きな不安材料が存在していることから、一層の家畜防疫・衛生体制の充実が求められている。

こうした情勢を背景に、国は平成28年度補正予算においても、畜産関連には手厚い予算を措置し、畜産クラスター事業をはじめ中核的な担い手に対する重点的な各種施策を推進している。

このような中、当協会は平成25年度から公益社団法人に移行して4年が経過し、会員団体や関係機関との有機的な連携を図りながら業務を推進している。公益目的事業1においては、子牛価格の高騰により肉用子牛生産者補給金は交付されない一方、肉用牛肥育経営安定特別対策においては、乳用種を中心に頻回の発動があり、月毎に補填金を交付する措置を続けてきた。

また、公益目的事業2においては、畜産収益力強化対策、担い手生産者や指導者の育成、家畜衛生面の指導、消費者への理解醸成を行なうとともに、公益目的事業3において、畜産経営体支援、家畜防疫支援を実施し、本県における畜産振興を図ってきた。

第2 会議及び人事関係等

1. 総会

(1) 定時総会 平成28年6月29日（水）

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 平成27年度事業報告及び決算の承認に関する件

第2号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件

(2) 臨時総会 平成29年3月28日（火）

大津橋ビル5階大会議室において、2項目について報告するとともに、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

報告事項 平成28年度収支予算補正に関する件

平成29年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに

	関する件
第1号議案	定款の一部変更に関する件
第2号議案	平成29年度会費徴収に関する件
第3号議案	役員の報酬に関する件
第4号議案	会計監査人の選任に関する件
第5号議案	役員の補欠選任に関する件

2. 理事会

(1) 第1回理事会 平成28年6月7日(火)

大津橋ビル5階中会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに1項目について報告した。

議事

第1号議案	平成27年度事業報告及び決算書類の承認に関する件
第2号議案	肉用子牛生産者補給金制度業務方法書の一部改正に関する件
第3号議案	肉用牛肥育経営安定特別対策事業業務方法書の制定に関する件
第4号議案	肉用牛肥育経営安定特別対策事業に係る事務委託先に関する件
第5号議案	肉用牛肥育経営安定特別対策事業に係る事務手数料に関する件
第6号議案	任期満了に伴う役員改選に関する件
第7号議案	平成28年度定時総会開催に関する件
報告事項	職務執行状況等

(2) 第2回理事会 平成29年3月17日(金)

大津橋ビル5階中会議室において、1項目について報告するとともに、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議事

報告事項	職務の執行状況
第1号議案	平成28年度収支予算補正に関する件
第2号議案	定款の一部変更に関する件
第3号議案	平成29年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第4号議案	平成29年度会費徴収に関する件
第5号議案	平成29年度歳計現金預入先に関する件
第6号議案	平成29年度一時借入金の最高限度額決定に関する件
第7号議案	役員及び会計監査人の報酬に関する件
第8号議案	平成29年度予防注射料金に関する件
第9号議案	諸規程の一部改正に関する件
第10号議案	肉用子牛生産者補給金制度業務方法書の一部改正に関する件
第11号議案	会計方法の一部変更に関する件
第12号議案	会計監査人の選任に関する件
第13号議案	役員の補欠選任に関する件
第14号議案	臨時総会の招集に関する件

3. 監事会

定期監査 平成28年5月31日(火)

大津橋ビル5階小会議室において、平成27年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4. 役員の状況

区 分	本年度当初 (28年4月1日)	役員改選 (28年6月29日)	増 減		本年度末 (29年3月31日)
			辞 任	就 任	
理 事	9	0	1	1	9
監 事	3	1	0	0	3

(平成29年3月31日理事1名辞任、平成29年4月1日理事1名就任)

5. 会員の状況

年度当初会員数：20会員

年度末会員数：20会員

6. 職員数 (平成29年3月31日現在)

職 員 6名(出向職員1名<>内) 嘱託職員 3名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営安定課	2 <1>	1	3 <1>
畜産振興課	2	2	4
総務管理課	1	—	1
計	6 <1>	3	9 <1>

7. 関係機関等の会議出席状況(県域以上)

年 月 日	場 所	会 議 名 等
28. 4. 12	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国推進会議
28. 4. 21～22	東 京 都	畜特資金経営体質強化資金担当者会議
28. 4. 22	東 京 都	畜産クラスター事業全国推進会議
28. 4. 26	東 京 都	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議
28. 5. 9	名 古 屋 市	愛知県畜産課事業説明会
28. 5. 17	東 京 都	自衛防疫体制強化推進事業全国推進会議
28. 5. 23～24	東 京 都	肉用牛肥育経営安定特別対策事業全国統一電算処理システム研修会
28. 5. 30	東 京 都	全国農場H A C C P 認証推進会議
28. 6. 1	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会総会
28. 6. 3	名 古 屋 市	農林水産業輸出力強化戦略東海ブロック説明会
28. 6. 6	名 古 屋 市	一般社団法人名古屋コーチン協会総会
28. 6. 20	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協会総会
28. 6. 21	東 京 都	一般社団法人全国肉用牛振興基金協会総会
28. 6. 22	東 京 都	公益社団法人中央畜産会総会
28. 6. 24	岡 崎 市	愛知県家畜人工授精師協会総会
28. 6. 24	名 古 屋 市	愛知県養豚農協通常総会
28. 6. 28	東 京 都	P E D 全国防疫推進会議
28. 6. 30	名 古 屋 市	愛知県信用農業協同組合連合会通常総会
28. 6. 30	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養豚協会総会
28. 7. 1	名 古 屋 市	食料農業農村白書東海ブロック説明会
28. 7. 5	東 京 都	飼養衛生管理基準全国啓発普及促進説明会会議
28. 7. 12	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
28. 7. 13	岡 崎 市	農林水産業輸出力強化戦略愛知県説明会
28. 7. 21～22	南知多町 他	東海4県衛生ブロック会議
28. 7. 22	大 阪 市	畜産特別資金ブロック会議
28. 7. 25	東 京 都	馬飼養衛生管理全国会議

年 月 日	場 所	会 議 名 等
28. 7. 25	岡 崎 市	愛知県酪農農業協同組合総会
28. 7. 28	名 古 屋 市	愛知県農作物奨励品種審査会
28. 7. 29	田 原 市	P E D地域まん延防止支援会議（講習会）
28. 8. 4	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
28. 8. 8	東 京 都	畜産クラスター事業（機械導入事業）全国推進会議
28. 8. 18	岡 崎 市	死亡牛処理推進協議会
28. 8. 27	名 古 屋 市	中部地区獣医師大会
28. 8. 30	東 京 都	畜産クラスター事業第2回全国推進会議
28. 9. 9	岡 崎 市	鳥インフルエンザ・口蹄疫県域防疫研修会
28. 9. 13	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
28. 9. 16	東 京 都	中央畜産会管理責任者等研修
28. 9. 15～16	和 歌 山 県	肉用子牛運営適正化事業北陸東海近畿ブロック研修会
28. 9. 29～30	岐 阜 県	東海ブロック畜産協会連絡協議会
28. 10. 13	岡 崎 市	畜産フェスタ会議
28. 10. 22	新 城 市	たまニコ2016愛知大会
28. 10. 28	蒲 郡 市	人権問題の講演と映画の会
28. 11. 1～2	東 京 都	肉用牛経営安定対策補完事業実務担当者研修会
28. 11. 2	岐 阜 県	東海地域飼料増産行動推進会議研修会
28. 11. 18	東 京 都	畜産クラスター事業（機械導入事業）全国推進会議
28. 11. 23	岡 崎 市	畜産フェスタ（岡崎市東部地域交流センター・むらさきかん）
28. 11. 24	名 古 屋 市	東海地域飼料増産行動推進会議研修会
28. 11. 25	名 古 屋 市	一般社団法人愛知県養鶏協会理事会
28. 11. 25	仙 台 市	畜産A B L地方検討会
28. 12. 2	東 京 都	畜産近代化リース業務推進事務打合せ会議
28. 12. 15	名 古 屋 市	畜産フェア（名古屋競馬場）
28. 12. 16	東 京 都	畜産クラスター事業電算システム説明会
28. 12. 19	名 古 屋 市	畜産技術業績発表会
28. 12. 20	岡 崎 市	畜産フェスタ会議（反省会）
28. 12. 21	岡 崎 市	生乳の安全・安心地域協議会
29. 1. 20	東 京 都	畜産クラスター事業電算システム説明会
29. 1. 31	東 京 都	畜産A B L活用推進事業に係る会議
29. 1. 31	名 古 屋 市	生乳の安全・安心東海地域協議会
29. 2. 15～16	東 京 都	肉用子牛運営適正化事業中央研修会
29. 2. 23	東 京 都	畜産クラスター事業電算システム研修会
29. 3. 5	名 古 屋 市	県獣医師会学術研究発表会
29. 3. 9	熊 本 市	家畜生産性向上対策事業現地講習会
29. 3. 9	東 京 都	豚流行性下痢まん延防止体制促進対策検討委員会
29. 3. 21	名 古 屋 市	死亡牛処理推進協議会
29. 3. 22	東 京 都	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議
29. 3. 30	名 古 屋 市	愛知県信用農業協同組合連合会臨時総会

第3 事業関係

1. 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等に係る状況の変化が、国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用子牛の価格が低落した場合や肥育経営の収益性が悪化した場合に補填金等を交付して、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構から生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

ただし、平成28年度は子牛価格の高騰により補給金交付の発動はなかった。

- ・事務委託先団体調査指導 40日 延べ 40団体
 - ・委託団体数 13団体、契約生産者 186者
 - ・H28.1～12個体登録頭数 7,643頭
(6ヶ月齢頭数)
- | | | |
|--------|-------|---|
| ・肉専用種 | 997 | 頭 |
| ・肉専その他 | 0 | 頭 |
| ・交雑種 | 4,487 | 頭 |
| ・乳用種 | 2,159 | 頭 |

①生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 186者	内訳：個人経営 156者、組合法人 4者、会社法人 26者
------------	-------------------------------

②事務委託先

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(10)	あいち尾東農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③生産者積立金造成実績

【生産者積立金単価】登録日：6月齢－1日(積立は四半期毎)

(単位：円)

	生産者負担額	県費補助額	機構補助額	計
黒毛和種	300	300	600	1,200
その他肉専用種	3,100	3,100	6,200	12,400
交雑種	600	600	1,200	2,400
乳用種	1,600	1,600	3,200	6,400

(単位：円)

区分	造成額内訳			合計
	生産者負担金	県生産者積立助成金	機構生産者積立助成金	
黒毛和種	299,100	299,100	598,200	1,196,400
その他肉専用種	0	0	0	0
交雑種	3,454,400	3,454,400	6,908,800	13,817,600
乳用種	2,692,200	2,692,200	5,384,400	10,768,800
計	6,445,700	6,445,700	12,891,400	25,782,800

④生産者補給金交付実績

(単位：円)

区分		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	計
黒毛	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
他肉専	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
交雑種	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
乳用種	頭数	0	0	0	0	0
	単価	0	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0	0
計	頭数	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0

参考：発動基準

(単位：円)

区分	黒毛和種	その他肉専	乳用種	交雑種
保証基準価格	332,000	217,000	130,000	199,000
	337,000	220,000	133,000	205,000
合理化目標価格	277,000	147,000	88,000	144,000
	280,000	149,000	90,000	147,000

*保証基準価格及び合理化目標価格上段は、H28.1～3、下段は、H28.4～

イ 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度における肉専用子牛飼育経営体への補完事業として、肉用専用子牛の平均売買価格が発動基準を下回った場合に支援交付金を交付する事業であるが、28年度は発動がなかった。

参考：発動基準

(単位：円)

区分	黒毛和種	その他肉専用種
発動基準価格	450,000	290,000

ウ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛生産基盤の安定と拡大に資するため、肉用牛肥育経営で粗収益が生産費を下回る収益性悪化時に、生産者の拠出と(独)農畜産業振興機構補助金で造成した基金から、全国統一算定単価での補填金を交付し、県内肉用牛肥育経営の安定を図った。

業務推進にあつては、生産者の肥育牛の個体登録、及びその販売確認等の効率かつ円滑な推進を図るため、関係団体に一部の業務を委託して事業を実施するとともに、第3業務対象年間(平成28～30年度)においても、肉用牛肥育を取り巻く経営環境を考慮し、本来四半期単位での補填業務を、引き続き月毎に交付する特例措置で行った。

また、前年度で第2業務対象年間が終了したことから、同期間の肥育安定基金を閉鎖し、基金残高に応じて(独)農畜産業振興機構及び契約生産者へ拠出金を返還及び返戻した。

- ・推進会議等
 - 推進会議 1回(平成28年4月25日 岡崎市)
 - 地域説明会 延7回(平成28年5月16～20日
豊橋、田原、西尾、半田、美浜、新城)
- ・調査指導等
 - 指導会延べ11団体、現地調査4者

・平成28年2月期～平成29年1月期 個体登録頭数 20,309 頭
 肉専用種 2,785頭、交雑種 14,480頭、乳用種 3,044頭

①生産者補填金交付契約締結状況

契約生産者	181者	内訳：個人経営	136者	組合法人	2者	会社法人	43者
-------	------	---------	------	------	----	------	-----

②委託先契約締結状況

区 分	団 体 名
農 協 連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協 (8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
そ の 他 (1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③肉用牛肥育経営安定特別基金造成実績

【基金造成単価】

(単位：円)

	平成27年度			平成28年度			積立月 (達する月)
	生産者	機 構	計	生産者	機 構	計	
肉専用種	10,000	30,000	40,000	10,000	30,000	40,000	25ヵ月齢
交 雑 種	25,000	75,000	100,000	25,000	75,000	100,000	22ヵ月齢
乳 用 種	17,000	51,000	68,000	26,000	78,000	104,000	18ヵ月齢

(単位：円)

区 分	造 成 額 内 訳		合 計
	生産者積立金	機構補助金	
肉 専 用 種	39,350,000	118,050,000	157,400,000
交 雑 種	449,600,000	1,348,800,000	1,798,400,000
乳 用 種	98,995,000	296,985,000	396,664,000
計	587,945,000	1,763,835,000	2,351,780,000

④肥育牛補填金交付実績

(単位：頭、円)

区分		H28.1月期精算	2月期	3月期	4月期	5月期
肉 専 種	頭数	169	241	230	227	185
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,021	1,169	1,122	1,231	1,069
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
乳 用 種	頭数	237	281	263	227	241
	単価	1,100	10,500	17,500	0	0
	金額	260,700	2,950,500	4,602,500	0	0
計	頭数	1,427	1,691	1,615	1,685	1,495
	うち交付	237	281	263	0	0
	金額	260,700	2,950,500	4,602,500	0	0

(単位:頭、円)

区分		6月期	7月期	8月期	9月期	10月期
肉 専 種	頭数	180	259	196	228	219
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,063	1,095	1,160	1,061	1,127
	単価	0	0	0	0	0
	金額	0	0	0	0	0
乳 用 種	頭数	242	252	265	244	234
	単価	0	17,800	26,800	47,000	45,300
	金額	0	4,485,600	7,102,000	11,468,000	10,600,200
計	頭数	1,485	1,606	1,521	1,533	1,580
	うち交付	0	252	265	244	234
	金額	0	4,485,600	7,102,000	11,468,000	10,600,200

(単位:頭、円)

区分		11月期	12月期	H29.1月期概算	H28.1精算～ H29.1月期概算の計
肉 専 種	頭数	267	475	149	3,025(内交付0)
	単価	0	0	0	—
	金額	0	0	0	0
交 雑 種	頭数	1,250	1,421	1,079	14,768(内交付1,250)
	単価	6,200	0	0	—
	金額	7,750,000	0	0	7,750,000
乳 用 種	頭数	278	282	198	3,244(内交付2,534)
	単価	51,500	61,100	68,300	—
	金額	14,317,000	17,230,200	13,523,400	86,540,100
計	頭数	1,795	2,178	1,427	21,037
	うち交付	1,528	282	198	3,784
	金額	22,067,000	17,230,200	13,523,400	94,290,100

*2～1月期→4月～3月交付、H28.1月精算→H28.5月交付

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対して畜産物の理解を深めてもらい、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

① 地域畜産支援指導等体制強化（愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・(公社)中央畜産会(委託金・助成金)・図書斡旋収入)

- ・畜産経営支援に必要な指導を実施し、当協会のホームページを畜産ネットワーク(LIN)上に開設し、畜産経営に係る各種情報提供を逐一実施した。
- ・県域の家畜登録団体が実施する登録事業を支援し、県内の優良家畜生産に寄与した。：3団体
- ・県内の畜産団体と近況把握、情報共有のための連絡会議を実施、又は関係会議への出席により、各種情報を把握し、畜産経営支援の実施組織体制を強化した。
- ・家畜衛生体制強化を図るため、衛生体制強化基金事業を実施した。
- ・経営技術指導の一環として図書斡旋販売を実施した。

- ② 畜産特別資金推進指導 ((公社) 中央畜産会補助金)
 畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行うとともに、県協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。
- ・現地検討会・指導会の実施 延べ5回 132人(田原市)
 対象：酪農家 1戸(大家畜経営改善支援資金)
 肉牛農家1戸(畜産経営維持緊急支援資金)
 - ・愛知県畜産経営改善推進協議会の開催1回(平成29年3月22日 名古屋市)
- ③ 畜産近代化リース貸付指導 ((公財) 畜産近代化リース協会委託金)
 畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。
- ・調査指導件数 17戸、19基 (H29.1月~3月)
 (半田市4戸、西尾市1戸、豊橋市7戸、田原市4戸、豊田市1戸)
 - ・普及啓発資料作成 400部
- ④ 畜産クラスター機械導入体制強化 ((公社) 中央畜産会委託金)
 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)の機械導入事業の県域窓口団体として、全国会議に出席するとともに、事業推進会議の開催、事業参加要望書の取りまとめ等を行った。
- ・事業推進会議 4回 平成28年 4月27日 10名
 平成28年 4月28日 13名
 平成28年 9月 8日 18名
 平成28年11月28日 14名
 - ・事業参加承認 13協議会、48件 259,843千円(補助金額)
- ⑤ 畜産団体調整機能強化 ((公社) 中央畜産会委託金)
 畜産経営を取り巻く情勢が厳しさを増す中で、将来にわたり本県の畜産を担う生産者を参集し、畜産経営の継承について講演会を実施し、畜産の部門を越えた生産者同士による意見交換を行った。
- ・懇談会・意見交換会等の開催 1回(平成29年3月23日)
 懇談会テーマ：税務関係の講演及び意見交換
 講演：畜産経営における税務について
 講師：税理士法人フィールドネクサス 税理士 間宮祥子
 意見交換参加者：生産者11名、情報提供者1名、県・団体関係者4名、
 畜産コンサルタント1名、その他1名 計18名
- ⑥ 農場HACCP認証支援地域強化促進 ((公社) 中央畜産会委託金)
 地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知など、農場HACCP認証の広範勝加速的な普及を図った。
- ・農場HACCP認証普及推進会議の開催：3回(27名)
 平成28年11月30日 岡崎市、平成29年1月26日 新城市、平成29年2月17日 名古屋市
- ⑦ 自衛防疫体制強化推進 (家畜衛生対策推進協議会委託金)
 伝染性疾病発生時の防疫対応等を支援するため、防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取組の徹底、啓発等を行い、地域自衛防疫体制の強化・定着を図った。
- ・地域自衛防疫体制強化推進会議の開催：2回(46名)平成28年8月30日 名古屋市
 平成29年2月 8日 名古屋市

- ・ 県域防疫演習 1回 平成29年9月9日：県と共催 250名 岡崎市
「鳥インフルエンザ・口蹄疫県域防疫研修会」
講演：宮崎県の口蹄疫発生～その後の状況と防疫体制について～
講師：宮崎県延岡家畜保健衛生所 河野高明 所長
- ・ 地域防疫演習 8回

平成28年 9月 8日	家保と共催（鶏）	新城市	8名
平成28年 9月13日	家保と共催（鶏）	豊橋市	25名
平成28年 9月15日	家保・養豚団地と共催	田原市	16名
平成28年 9月30日	家保と共催（豚）	美浜町	53名
平成28年10月 7日	家保と共催（牛）	西尾市	23名
平成28年11月14日	家保と共催（鶏）	岡崎市	27名
平成28年11月22日	家保と共催（豚）	西尾市	9名
平成29年 2月20日	家保と共催（豚）	西尾市	7名

⑧ 豚流行性下痢まん延防止体制支援強化 ((公社) 中央畜産会委託金)

地域の状況に応じた効果的な防疫指導として、地域一体となった消毒、予防接種の励行等の検討及び研修会を実施するとともに、予防接種等を実施する繁殖豚農場を対象に、獣医師による衛生管理点検指導、衛生状況の確認を実施した。

- ・ PED地域まん延防止支援対策会議 3回

平成28年 7月12日	岡崎市	12名
平成28年 7月26日	岡崎市	17名
平成28年 7月29日	田原市	65名
- ・ PEDまん延防止支援衛生指導

参加獣医師	9名、5施設
農場数及び指導回数	35農場、延べ251回
- ・ PEDまん延防止支援感染確認

検査機関：家畜保健衛生所	
中和抗体検査	16農場、延べ676検体
糞便等PCR検査	16農場、延べ398検体

⑨ 飼養衛生管理基準等緊急啓発促進 ((公社) 中央畜産会委託金)

地域啓発普及促進委員会 1回 平成29年 3月 8日 名古屋市

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

① 馬飼養衛生管理特別対策 ((公社) 中央畜産会委託金)

馬の防疫体制確立に向け、関係者・関係機関と連携して委員会及び講習会を開催するとともに、競走馬以外の馬の地域馬獣医療体制の実態を把握するための実態調査を実施した。

- ・ 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回

平成28年12月 5日	名古屋市	10名
-------------	------	-----
- ・ 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催 1回

平成28年12月 5日	名古屋市	22名
講演：馬の寄生虫病とその対策について		
講師：日本中央競馬会六本木事務所馬事防疫課		
- ・ 地域馬獣医療実態調査

回答	23施設／調査	32施設
----	---------	------

② 在来馬等馬伝染性貧血清浄化推進 ((公社) 中央畜産会委託金)

馬伝染性貧血の清浄化を推進するため、在来馬等の実態調査を踏まえ検討会を開催した。

- ・ 馬伝染性貧血清浄化地域推進検討会の開催 1回

平成28年 10月11日	名古屋市	9名
--------------	------	----

ウ 畜産物に関する理解情勢・情報提供

① 畜産物に関する理解情勢・情報提供（名古屋競馬株式会社補助金）

畜産物の生産者と消費者が直接交流する場や、消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、試食会・啓発資料配布を実施する畜産フェスタや県内畜産物の品質や安全性に関する啓発により、畜産物消費を促進する畜産フェア等の開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供や適切なアドバイスを実施した。

（参考）

・畜産フェスタの開催

期 日：平成28年11月23日

開催場所：岡崎市（岡崎市東部地域交流センター・むらさきかん）

畜産物の配布：牛乳入りパン、コーチン・キーマカレー、ハチミツ、
燻製うずら卵

・畜産フェアの開催

期 日：平成28年12月15日

開催場所：名古屋市（名古屋競馬場）

畜産物の配布：名古屋コーチンカレーと燻製うずら卵のセット（350）
全酪6Pチーズと燻製うずら卵のセット（360）
スモークチーズと燻製うずら卵のセット（360）

エ 畜産に関する表彰事業

① 高橋養鶏賞顕彰事業基金

高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。

- ・高橋養鶏賞選考委員会 平成28年5月25日
- ・第41回高橋養鶏賞受賞者 富田眞之氏（経営部門）、成瀬徹馬氏（経営部門）
- ・高橋養鶏賞表彰式 平成28年6月29日

② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰

家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。

- ・5団体催事：賞状6点、副賞5点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

厳しさの増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続できる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

① 地域における肉用牛生産基盤強化等対策（（独）農畜産業振興機構補助金）

肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付するとともに、中山間地域の肉用牛生産基盤の維持の一翼を担っている肉用牛ヘルパー組織への支援を実施した。

- ・増頭奨励金交付対象頭数 143頭
（JA愛知東26頭、JAあいち三河4頭、JAあいち尾東9頭、JAあいち知多48頭、JA愛知みなみ29頭、愛知県酪農協7頭、配飼協20頭）
- ・支援対象肉用牛ヘルパー利用組合 1組合
（愛知東農業協同組合：肉用牛ヘルパー利用組合）
実績・・・飼養管理 2戸 のべ61日

家畜市場関係（市場内引回し等） 276頭

イ 家畜防疫支援に関する事業

① 家畜生産農場清浄化支援（農林水産省補助金及び手数料）

慢性疾病の清浄化対策とアカバネ病等異常産の発生・流行の防止対策を推進するとともに、自衛防疫推進のための会議と講習会等を実施した。

また、補完的に当協会独自の衛生事業も実施した。

- ・ヨーネ病対策検討会の開催 3回（5/19、11/30、2/15）岡崎市 41名
- ・ヨーネ病対策講習会の開催 1回（2/15）岡崎市 26名
- ・ヨーネ病検査 1農場 175頭
- ・牛白血病対策検討会の開催 3回（5/19、11/30、2/15）岡崎市 41名
- ・牛白血病対策講習会の開催 1回（2/15）岡崎市 26名
- ・牛白血病検査 52農場 1,465頭
- ・BVD-MD対策検討会の開催 3回（5/19、11/30、2/15）岡崎市 41名
- ・BVD-MD対策講習会の開催 1回（2/15）岡崎市 26名
- ・PI牛とう汰 12農場 14頭
- ・オーエスキー病清浄化対策（オーエスキー病清浄種豚流通促進対策）
抗体検査 1農場 527頭
- ・農場飼養衛生管理強化対策
飼養衛生管理強化推進講習会の開催 1回（7/1）名古屋市 5名
飼養衛生管理強化のための農場指導 2診療施設 62農場
- ・ワクチン接種技術検討会の開催 2回（7/1、3/17）名古屋市 37名
- ・伝染病予防ワクチン接種状況 牛 計 5,819頭
 - ・牛異常産三種混合ワクチン 2,448頭
 - ・アカバネ病単味ワクチン 3,371頭
- ・協会独自事業(家畜衛生事業)
 - ・予防ワクチン接種事業 牛 計 35,203頭
 - ・イバラキ病生ワクチン 6,428頭
 - ・伝染性鼻気管炎ワクチン(IBR) 1,461頭
 - ・牛五種混合生ワクチン 8,180頭
 - ・牛五種混合不活化ワクチン 1,814頭
 - ・牛六種混合(L)ワクチン 1,274頭
 - ・牛六種混合(LK)ワクチン 5,482頭
 - ・ボツリヌスワクチン 10,564頭

② 家畜防疫互助基金造成等支援（(独)農畜産業振興機構補助金）

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・豚コレラ等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成して、万が一の疾病発生時への影響緩和に備えた。

【加入状況】

(H29.3.31現在)

家畜種類	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	114	12,011	2,550,985
肉用牛	155	30,063	3,288,805
牛計	269 (うち乳肉44)	42,074	5,839,790
豚	94	180,179	7,191,650
合計	363	222,253	13,031,440

【加入率】

	乳用牛		肉用牛		豚	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	334	26,200	348	42,200	209	333,300
契 約	114	12,011	155	30,063	94	180,179
加 入 率	34 %	46 %	45 %	71 %	45 %	54 %

事業推進会議等の開催 2回(8/30、3/8) 名古屋市 50名

③ 海外悪性伝染病対策支援(自己資金)

海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。

- ・対象家畜：牛、豚
- ・対象疾病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ等

④ 生産地等馬伝染性疾病防疫強化特別対策((公社)中央畜産会委託金)

地域における自主防疫活動の強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種推進及び馬飼養衛生状況の普及啓発等を推進した。

- ・馬ワクチン接種等検討会の開催 2回(10/11、12/5) 名古屋市 19名
- ・馬インフルエンザワクチン接種推進
対象施設 11施設、 136頭(乗用馬)

2 収益事業

(1) 収1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分(面積比)により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した。(事務所入居率 50%)

3 その他事業

(1) 他1 畜産関係団体の事務局を運営する事業

ア 愛知県和牛改良協会の事務局

愛知県和牛改良協会からの業務受託により、公益社団法人全国和牛登録協会の地方審査員の資格をもつ当協会職員が登録事業の推進指導を行うとともに、改良協会の事務局を運営した。